



# 学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和元年12月25日

第10号

1月



「教室は すすんでチャレンジ できるんだ」

校長 神田 敏之

人権週間の取り組みの中で、上のような「人権標語」を作っています。学級ごとに掲示物にまとめて展示してあります。人権を大切にするという意識をもてるのがねらいです。標語といっても五七五にこだわらず、大切だと思うことを自由にそれぞれ書いています。

- 一人一人 ちがった考え 認め合おう
- その言葉 知らずに相手を 傷つける
- やめようよ 重い一言 仲良くね
- 心から 安心できる 世界をつくろう
- みぬふりは それは本当の 友達か？
- 同じだよ 自分と他人の 大切さ
- あたたかい 心になったよ その一言は
- あいさつは 心と心を くっつける
- ふわふわことばは 心が いい気もちになるよ
- どうしたの わたしとえがおで おさんぽしよう

朝会で「教室はまちがうところだ」(蒔田晋治:作 長谷川知子:絵 こどもの未来社)の話を読みました。「まちがうことを おそれちゃいけない」「まちがったものを わらっちゃいけない」まちがったものをみんなで高め合って、みんなで伸びていくというこの話を聞いて、冒頭の標語を作ったのでしょう。間違いを恐れないことを「すすんでチャレンジ」とプラスの表現にしたところが素晴らしいと思いました。

人権を大切にすることとは、誰もが安心して過ごせるということ。知らずに人を傷つけてしまった時には、心から謝罪する。いじめなど人を傷つける場面を見かけた時には、「やめようよ」と「おかしいと思うこと」に対して声を出す。普段の生活からあいさつや気持ちのよい言葉かけをすることなどいろいろな側面からの標語が集まりました。

本校では、人権教育の推進を図るために、「安心して自分の考えを表現できる」「見通しをもって主体的に学べる」「仲間と関わりながら学べる」などの視点を持ち、日々の授業を通して取り組んできました。子どもが安心して授業に参加でき、認められたという思いをもてるようにし、自尊感情や人権意識を育んできました。今後も一人ひとりを大切にしたい授業を進めていきます。

一人ひとりが安心して過ごせる「居場所」は、家庭や地域にもあると思います。自尊感情を育むこと、自他を大切にすることの子どもへの育成へのご協力を今後ともよろしくお願いいたします。